

会 議 結 果（ 報 告 ）

1 件 名	令和3年度第1回中野市美術品取得選定評価委員会
2 年 月 日	令和3年12月23日（木） 午後1時30分～午後3時00分
3 場 所	中野市役所本庁舎会議室51
4 出 席 者	<p>【委員】 金井徳重委員、市川董一郎委員、竹内真澄委員、渡辺博委員、春原功委員及び神田仁子委員 6名</p> <p>【市（事務局）】 町井文化振興係長</p>
5 会議概要	<p>1 開会（午後1時30分）</p> <p>2 挨拶（町井係長）</p> <p>3 協議事項</p> <p>（1）役員の互選について（進行：町井係長） 中野市美術品取得選定評価委員会設置要綱第4条の規定により、委員長の互選及び委員長代理の指名について、次のとおり決定。 委員長 金井徳重 職務代理 竹内真澄</p> <p>（2）第40回礫珉展市長賞作品の購入について（進行：町井係長） 本年度の礫珉展で中野市長賞を受賞した作品について、全委員一致で購入適当と決定した。 評価額（購入金額）については、例年と同様に12万円とした。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>【審査講評】（審査委員長 青木 勇治） 密教の教義を図にした曼荼羅をりんごの円の配置や重なりで表現している。青の主調色の中心に置かれたりんご、空間に漂い浮かぶりりんご、いずれも表情があり、それぞれが何かを訴えかけているようだ。円と線の複雑な構成、濃淡や対比を生かした構図が美しい。</p>

(3) 本市ゆかりの作家作品の購入について

市内在住の牧野悦夫氏の油彩作品の購入について、金井委員から提案があり、購入1点、寄附1点について全委員一致で適当とした。

購入予定の作品の評価額（購入金額）は70万円とし、令和4年度予算計上することとした。

(4) 美術品の寄附について

・宮澤芳一氏の日本画作品の寄附採納について

市内在住で峯樹会会長である宮澤芳一氏から市へ絵画（日本画）2点を寄附したい申し出があった。

再興院展にて奨励賞を受賞した2作品であることから、市で所蔵することが適当とされた。（全委員一致）

日本画・S100号2点 作品名「源流域」及び「映」

・寺澤宏三郎氏の油彩作品の寄附採納について

礮珉展・峯樹会の創設者であり、本市の文化芸術振興に寄与しており、令和2年5月に逝去され、相続される者もない状況とのことで、寄贈を受けることについては、全委員一致で適用とした。審議した80号の作品3点を中心に5点ほどを選定することとし、市川委員の所蔵している寺澤氏の作品2点についても寄贈の意向があったので、最終的な寄附受入作品については、金井委員長に一任となった。

4 その他

5 閉会（午後3時00分）